



和光の緑と湧き水だより会報 Verda208号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会は、白子大坂ふれあいの森の会と協同で会報を発行します。

作成：高橋絹世 連絡先 048—462—9912

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

一緒に自然に親しみ、ボランティア活動をしましょう 随時会員募集中

2020年11月、12月の主な予定表 (2020年11月6日発行)

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・ 大坂ふれあいの森 (地域の会に協力して)
11月	富澤湧水斜面林の業者による整備予定 28日、29日、30日	21日 (第3土曜) 定期保全 9時半～	14日 (第2土) 富沢湧水保全・富澤湧水の歴史 18日 (第3水) 大坂ふれあいの森 9時～
12月	マップ改訂版打ち合わせ	17日 (第3土) 定期保全 9時半～	12日 (第2土) 富沢湧水調査保全 9時～ 16日 (第3水) 大坂ふれあいの森 9時～

和光市自然環境マップの改訂版作成のための「緑地湧水地下見1. 2」

2017年度、環境課と湧き水の会が協働で作成した和光市自然環境マップは大好評で、市内の小学校での利用や、観察会、緑化祭りなどで配布され在庫がなくなりました。増刷が必要になり、数年間の街の変化を取り入れた改訂版を作ることになりました。

今回の下見では、和光市を北部、中部、南部の湧水緑地の現状を見て回ることになりました。環境課亀井課長、加藤課長補佐がそれぞれ同行され、湧き水の会がご案内しました。

一回目は中部の新倉ふれあいの森を起点に、越戸川沿い、上谷津ふれあいの森、柿の木坂湧水公園、やとじま公園、民家園、漆台洗い場、新倉小下湧水、新倉氷川神社などを見て歩きました。

二回目は南部白子コミセンスタート、熊野神社湧水タンク、細い路地の流れ、城山ふれあいの森、滝坂、富澤湧水、湧き水タンク、大坂ふれあいの森、大坂隣接地 (開発)、柴崎邸跡 (マンション)、バイパスを挟んで富澤尚邸裏 (マンション)、白子の滝、八雲台特別緑地、加山家森と湧水、白子川わくわくパーク、越後山、越後山中央公園まで見て歩きました。

和光市内の自然環境は、特に白子地域でここ数年の間に開発が進み、緑地湧水地が連続して3か所無くなり2か所はマンション建設が進んでいます。各回ともそれぞれ約3時間、合計3万歩弱。午王山、妙典寺、開発されつつある坂下湧水公園など、数か所残っています。

10月中旬暑さや和らぐ中、市内の長距離の見て歩き、今後の観察会にも生かします。



やとじま公園



白子川と越後山



富沢湧水

和光樹林公園のヒロハアマナの森間伐整備を実施しました

約 20 年かけて樹林公園内で、自生してきた樹木と共生しヒロハアマナが定着し、群落ができ分布が広がっています。樹木が小規模な森を作り、草花の環境を維持しています。

少人数で事前に数回草刈・剪定し、見通しが良くなった後に、今年最後の樹木の間伐を 10 月 28 日に行い、環境整備しました。

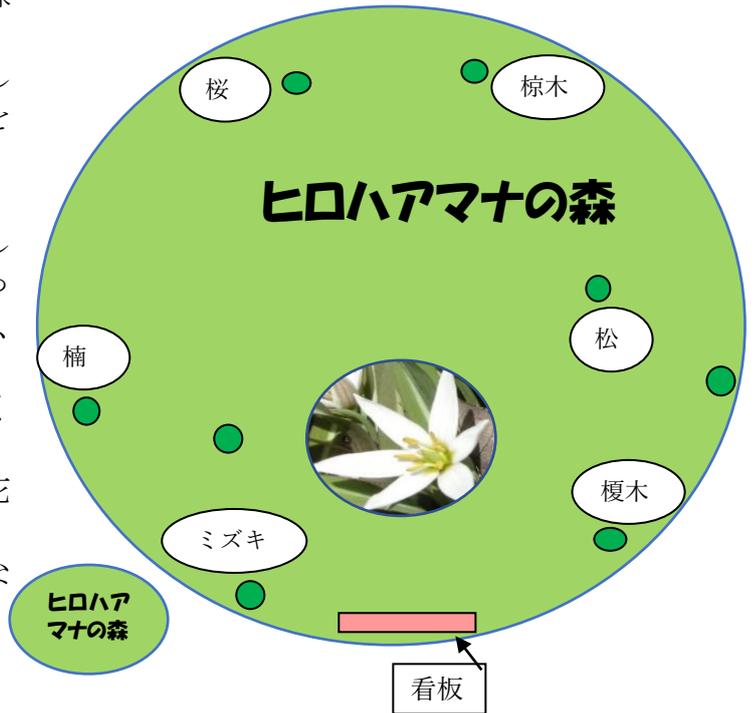
紅葉も見られるようになりました。

樹林公園パートナーズからの協力と、厳しい制約があり、様々な道具の使用制限もあって、今迄とは違う方法で何とか整備できた、といった感じでした。

兎に角、ヒロハアマナの森を継続していく上では、大事な活動となりました。

3 月には皆さんと一緒にヒロハアマナ開花の観察会をしたいと思います。

今後とも皆さんで協力して、和光の貴重な自然を残していこうと思います。



森の整備の無事終了記念



アカメガシワや松の間伐



草刈り機使用時のフェンス使用



大坂ふれあいの森コーナー 「大坂ふれあいの森」に大型倉庫が設置されました

大坂ふれあいの森は、10 月 21 日久しぶりの秋らしい気候に恵まれ、湿地にはホトトギスが開花を始めました。この植物は、根元から一本の長い枝を地面に這うように伸ばし、その枝に順次花芽を付ける珍しい形をしています。周りのヤブミョウガと一緒に生育し、お互いに支えあっているようです。斜面から湧き水が染み出す湿地の環境は都市部では貴重です。

この日はお隣の柴崎家から、季節のカキの差し入れをいただきました。また、元県会議員の神杉氏が立ち寄って下さり、お元気のご様子です。いつも活動を応援してくださり感謝です。

夕方に大坂ふれあいの森に「物置」が届き、2 時間かけて設置されました。



休憩時のカキの差し入れ



神杉氏が立ち寄って下さいました



ホトトギスの花



大型倉庫の設置